



どんなところで水を使っているかな？



応募しましょう

新聞が完成したら、『第6回 セディア財団 全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト2020』に応募しましょう。応募要項に書いてある注意事項をおうちの人や先生ともう一度よく確認して、応募しましょう。

しめきり

2020年 (当日消印有効)
11月10日(火)

指導の先生方へ

この応募の手引きは、『第6回 セディア財団 全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト2020』に応募するための手助けになればとの思いで制作したものです。必要に応じてコピーしていただき、児童のみなさまに配布していただければ幸いです。

応募の手引きは下記からダウンロードできます

主催者: <https://www.sedia-found.org/>

セディア財団

検索

作品の送り先・お問合わせ先

「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト事務局

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-17-6 群成舎八丁堀ビル 6 階 (プラスエム内)

◇ E メール: mizu-shinbun@plus-m.co.jp ◇ 電話: 03-6222-5251 ◇ FAX: 03-6222-4823

未来へのチカラをつなぐ
プロジェクト

第6回 セディア財団 全国小学生

「わたしたちのくらしと水」 かべ新聞コンテスト2020



なつ やす か だい
夏休みの課題に
ピッタリ!!

かべ新聞や 学習新聞

つくり方: 7つのポイント

応募の手引き

新聞ってどうやってつくるの? なんだかむずかしそうだな!

こんなふうにいるキミ、心配いらないよ。

この応募の手引きを参考にして、さあ、自信を持って応募にチャレンジ!



1 テーマを決める

- 下のテーマ例をお手本に、自分で書いてみたいな！と思うテーマをさがしてみよう。
- たとえば「家族でチャレンジ！節水とエコ」をえらんだら、自分の家でできる「水を大切に使う」ためにできることを調べてみましょう。
- 図書館で本をさがしたり、インターネットをつかって調べてもいいです。
- こまった時は、おうちの人や先生と話して、いっしょに決めましょう。

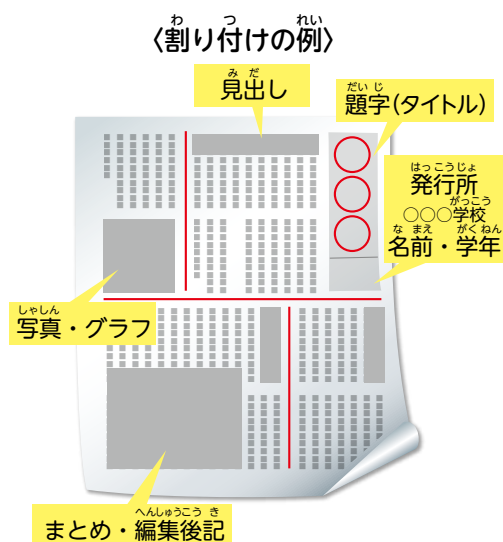
たとえば、つぎのようなテーマを参考にしてください。

〇～ステイ・ホーム～家族でチャレンジ！節水とエコ 〇水の歴史を調べてみよう
〇防災と水 〇つたえよう！水の大切さ 〇学校や家で使う水はどこからくるのかな？
〇わたしたちの地域の水じまん 〇井戸ってなに？むかしの水とくらし
〇世界の国の水事情 〇水の不思議を探してみよう 〇植物に水をあげよう
〇水と環境のつながりを調べてみよう 〇水を通して考える自然の恵みと災害

2 かべ新聞の割り付けを考える

- かべ新聞や学習新聞とは、授業で学んだこと、自分で調べたことや考えたことをまとめて、人に伝えるように文章を書いてつくる新聞のことです。
- かべ新聞はかべに貼り、より多くの人に見てもらえるように、大きな紙に大きな文字で表現します。
- 割り付けとは、新聞の「どこに」「なにを」を入れるか、題字（タイトル）や見出しの「場所」や「大きさ」をどうするかなど、わくを決めることです。
- 記事（書かないよう）の数だけ、線で区切りましょう。
- 新聞の大きさや写真・イラストの場所も、決めておくとよいでしょう。

※割り付け用紙はセディア財団ホームページからダウンロードできます。



3 取材をする《調べる・事実を確認する》

- 計画を立て、それに合わせて資料を集め、人に聞くなど取材をします。
- 自分の目や耳や足を使って調べ、確かめて記事を書くことが大切です。
- 友だちやおうちの人からアンケートを取る方法もあります。
- 取材できない時は、図書館やインターネットで調べて書く方法もあります。



取材先の例

取水場 浄水場 近くの川や海など、
水に関する科学館や資料館

※おうちの人といっしょにさがしましょう。

情報収集先の例

学校の図書室 図書館またはインター
ネットの活用など

※出典を必ず書きましょう。

4 記事を書く(見出し・本文・イラスト)

- 書くことを決めます。また、どこに、どんなことを入れるかを決めます。
- 文章は、だれにでもわかるように読みやすく書くことが大切です。
- 「いつ、どこで、だれが、なにを、どうして、どうなったか」が、できるだけ新聞を読む人に伝わるように書くことが大切です。
- 最後に「まとめ」や「編集後記」で感想や自分の考えを書きましょう。



5 色付けの工夫をする

- 題字（タイトル）と見出しは、「はっきりと」「大きく」「こく」書きます。
- 色えんぴつ、サインペン、絵の具、筆などを使って色のバランスを考えましょう。
- イラストや写真も上手に使ってみましょう。



6 仕上げ

- 書きまちがいがいがないか見直します。ほかの人に読んでもらうといいです。

7 発表

- 新聞には、必ず「読む人」がいます。完成したらかべに貼り発表してみましょう。
- 取材や調べてわかったことを相手に伝えましょう。
- 友だちや先生に感想を聞いてみましょう。

